

ライフサポート：はた

NO 18 : 2014. 6. 6

四万十市中村大橋通7丁目1-24
連合高知西地協内 TEL:34-9191
発行責任者：事務局 石井 孝



私は、毎月下の加江で半日間安らぎの時間を過ごさせてもらっています。

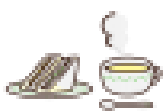
何故かと言うと、私が中村土木事務所当時の部下だった「美保ちゃん」が、実家に近い下の加江のちょっと入ったところで、「たゆたう」という小さな喫茶店をやっており、モーニングを楽しめることです。

彼女は「明るい性格でもあり、心配りの出来る、自然が大好きな人」で、特に海が大好きで「ダイビング・シュノーケル・ボード」など何でもござれで、以前私も一緒にしていた大月町のエコロジーパークボランティアを今でもしていると聞いています。

彼女には、私が「竜串荘」で支配人をしていた当時、お客さんに爪白のサンゴをシュノーケルで楽しんでもらうためのボランティアをしてもらったことがあり、お陰で若い皆さんからお年寄りまで、たくさんの皆さんに「竜串荘」を楽しんでもらうことが出来ました。

余談ですが、この4月から幡多広域観光協会の事務局長に赴任してきた橋本龍也君は、「竜串荘ボランティアの会」の会長をしてもらい、私が転勤する前には県職員を中心に100人近くとなり、私が居なくても、誰かが支配人の役をしてくれたことは一生忘れることはありません。

「たゆたう」とは、色々な意味があると思われませんが、「美保ちゃん」がつけた意味は、海をこよなく愛し漂うということではないかと勝手に解釈しています。



「たゆたう」のモーニングは自家製の米粉パン・味噌汁・コーヒー・野菜で私は最高に好きです。

また、庭には四季の花、前には田んぼがあり、稲刈りが終わると秋にはコスモスが楽しめるようになっており、その前の下の加江川では山羊を飼っています。

自然がいっぱいで「美保ちゃん」の気遣いと自然大好きな心が伝わって来て、毎回行く度に妻と感心しています。

モーニングが済むと妻の遠縁である、もりた理容所で散髪と髪染めです。下の加江の散髪人口は、天国に行く人が多いので私に来るようになっており、「たゆたう」でゆっくりして、散髪をしてそのうえ指圧をしてくれるので最高の半日となっています。

ちなみに、森田氏は夫婦ともガンを患っており、辛い時もあるようですが、妻と行くと「森田流」の最高のおもてなしを受け、「たゆたう」とともに月に一度の最高の時間を過ごさせてもらっています。

幡多ライフサポートセンター
副会長 松岡 和男

